令　和　元　年　度

第２回芽室町スポーツ推進委員会議議事録

と　き　令和２年１月16日（木）

　　　　　　　　　　　　　　　16時10分～17時10分

ところ　芽室町中央公民館２階図書資料室

芽室町教育委員会社会教育課スポーツ振興係

○会議次第

１　開　　　会

２　開会あいさつ　　スポーツ推進委員長　　貫　田　正　博

３　報告事項　　１）令和元年度十勝管内スポーツ推進委員研修会

日時　令和元年９月14日（土）13:30～16:30

　　　　　　　　　　会場　帯広市役所10階　第５会議室ほか

２）令和元年度西部十勝スポーツ推進委員研修会

　　　　　　　　　　日時　令和元年12月７日（土）13:30～17:30

　　　　　　　　　　会場　芽室町中央公民館２階　講堂

３）その他

４　協議事項　　１）芽室町社会体育施設再整備構想（案）について　資料１

２）その他

５　その他

６　閉会あいさつ　　スポーツ推進副委員長　　児　玉　　久

４　そ　 の 　他

○出席委員

　貫田　正博、児玉　 久、五十川秀子、樋口佳代子、橋詰　義宏、

田村　秀直、光川　敬士、土井　槙悟

○欠席委員

五十嵐　雄一、大熊　美由紀

○事 務 局

社会教育課長　日下　勝祐

スポーツ振興係長　大橋　　毅

スポーツ振興係主事　森山　拓也

※会議に先立ち、議件に関連して町内の社会体育施設の視察を行い、その所見等に基づき芽室町社会体育施設再整備構想（案）について、議論を行う（視察：午後３時00分～午後４時00分）。

午後４時10分開会

１　開会

２　開会のあいさつ

　（貫田委員長より開会にあっての挨拶）

**３　議件**

**報告事項**

**１）令和元年度十勝管内スポーツ推進委員研修会**

**２）令和元年度西部十勝スポーツ推進委員研修会**

（大橋スポーツ振興係長から、前回会議以降に開催された十勝管内スポーツ推進委員研修会、西部十勝スポーツ推進委員研修会について報告）

【貫田委員長】

それぞれの研修会に参加された委員から研修会の感想などを伺いたいと思い

ます。十勝管内スポーツ推進員研修会に参加した児玉副委員長お願いします。

【児玉副委員長】

実技としてボッチャを初めて体験しました。この競技は障がいの有無に関わらず健常者でもできるスポーツという感想を持ちました。球の距離感を掴むのに苦労しました。芽室でも普及させるというのも選択肢の一つだと感じました。

【貫田委員長】

　田村委員お願いします。

【田村委員】

ボッチャは健常者が取り組む場合も身体への負担が少ないスポーツだと感じました。石橋氏の講演について、彼は全盲ではなく、視野が狭いという障がいを持っているとのこと。この障がいのため、白杖を所持しているが、周囲からは障がいについて理解が得づらく、苦労しているという話が印象に残りました。

【貫田委員長】

　次に西部十勝スポーツ推進委員研修会に参加した土井委員お願いします。

【土井委員】

今回、ライフキネティックの講師を務めた小川氏は、私が勤務する職場の同期。スカイアースでも取り入れているというこのエクササイズは、運動と脳トレを組み合わせて新しい神経回路を構築させようとするもの。私の娘も小川さんのトレーニング教室に通っており、幼児から高齢者、スポーツ選手まで改めて有効なトレーニングであるということを認識した。

【貫田委員長】

　五十川委員お願いします。

【五十川委員】

　研修会に参加したあと、個人的にライフキネティック用の道具を購入し、家で孫と一緒に取り組んでいる。高齢者や子供にも有効なトレーニングだと思う。少年団活動の中でも取り入れてもよいと思った。

**４　協議事項**

**１）芽室町社会体育施設再整備構想（案）について**

（社会体育施設再整備構想について、資料１に基づき、大橋スポーツ振興係長より説明）

【田村委員】

５ページ目の芽室公園庭球場について記載されているクローンカシワというのはどういうものか。現状では樹木の根の影響でコートに割れなどが生じているとのことだったが、新たに同じ場所に植え替えるということか。

【大橋スポーツ振興係長】

クローンカシワは伐採しようとする樹木から組織を採取し、組織培養により同じ性質をもった樹木を再生しようとするもの。

【日下社会教育課長】

現在、芽室公園庭球場の南側３面の範囲に、カシワ樹１本が存在する。これについては今後、施設を整備していく中で支障となる可能性が高いことから、クローン再生した樹木を別の場所への移植を検討したいと考えている。

【樋口委員】

施設の視察の説明の中で、南公園庭球場周辺の駐車場が狭く、大会開催時に混雑しているとの説明があった。今後、芽室公園運動広場周辺をどのように整備していくと考えているのか。

【日下社会教育課長】

南公園運動広場についてはゲートボールの大会などで必要とされるコート数を確保したうえで、別の用途による活用として駐車場を拡張するなど方向で検討できないかと考えている。再整備構想（案）を読んでいただくと、整備費等の予算に関する記載がないことに気付いたと思う。この構想は芽室町第５期総合計画の最終年度である2026年度までの８年間の中で着手しているか完了しているというもの。施設毎の修繕や整備は毎年策定する実行計画の中で整理していくことになる。

【樋口委員】

青少年ホームの必要性は。

【日下社会教育課長】

勤労青少年ホームはメムオロ太鼓の練習場や防災備品の保管場所、適応指導教室として使用されている。プール建替の議論の中でトレーニング室の整備や地域集会施設機能などの議論があり、耐震診断を実施したところ問題なしとの結果なども受け、活用する方向、取り壊しは行わず有効に活用していくことで検討している。

【田村委員】

総合体育館の西側に新しいプールを建設した場合、既存のプール跡地の利用方法はどう考えている。

【日下社会教育課長】

跡地は有効活用を図りたいと考えている。駐車場を整備することも１つの候補と考えている。

【光川委員】

他の自治体では野球場やサッカー場に隣接するかたちでサブのグラウンドなどが整備されているのを見かける。利用者としては集約されている方が移動などを考えると利便性がよい。町として競技施設を集約する考えはあるか。

【日下社会教育課長】

芽室町の場合、市街地に点在するかたちで体育施設が整備されている。郊外の農地を施設用地へ転用する場合、手続きが煩雑になる。現状では今ある施設の中での統廃合などの整理を行っていく考え。

【橋詰委員】

野球場を２か所整備してはどうか。

【日下社会教育課長】

付属施設などを含めると厳しい状況。

【貫田委員長】

町内に点在するかたちで整備されている芽室の状況を考えると２つの施設を同じ敷地内に整備するのはスぺ―ス的に厳しいのでは。

【日下社会教育課長】

長期的に見た場合、少子化を迎える中で、学校用地や学校体育施設の活用も議論となる可能性もある。

【貫田委員長】

町長との未来ミーティングの中で、成人式の参加者の話があり、今年芽室で成人を迎えた人数が207人に対し、昨年芽室で生まれた子供が100人ということで、単純に20年後には半減するという状況にあり、少子化に伴う将来的な施設の在り方については考えて行かざるを得ない状況になる。

【五十川委員】

温水プールを駅から１㎞圏内とするという国庫補助の要件はどういう理由があるのか。

【日下社会教育課長】

新たな施設などの整備により中心市街地に人を呼び込もうという意図がある。逆に委員の皆さんにお伺いしたいのですが、健康プラザと同様の機能を有する施設や総合体育館のサブアリーナの整備に関する意見があるが、そのような施設の整備に関して意見があれば伺いたい。

【貫田委員長】

ゲートボール競技だけでなく、他の競技のことを考えると健康プラザはスペース的に手狭だと思う。

【五十川委員】

子どもたちの人口が減少傾向にあることを考えると施設だけ新しく建てるということにはならないと思う。総合体育館ではバドミントンコートを８面設定できるが、大きな大会を開催するには手狭であるが、新しく建てることが出来ないことは理解している。

【日下社会教育課長】

町村が単独ですべての競技をカバーするだけの施設を整備するということも難しくなっていく。広域連携による対応についても検討していく必要がある。

【五十川委員】

中途半端な施設となるのであれば、不要。

【貫田委員長】

その他、意見はございませんか。無ければ、その他、事務局からありますか。

【大橋スポーツ振興係長】

事務局からは特にありません。

**５　その他**

【貫田委員長】

　その他、事務局からお願いします。

【大橋スポーツ振興係長】

次回会議につきましては。協議事項でも説明させて頂いた庁舎内の検討会議において社会体育施設再整備構想の策定と併行して作業を進めている、芽室町温水プール建替基本構想に関する説明機会を設けたいと考えています。会議日程については改めて調整させて頂きます。

【貫田委員長】

それでは、閉会にあたり児玉副委員長から挨拶をお願いします。

**６　閉会あいさつ**

【児玉副委員長】

（児玉副委員長より閉会の挨拶）

【貫田委員長】

以上をもちまして、第２回芽室町スポーツ推進委員会議を終了します。皆さんありがとうございました。

（午後５時00分終了）